

**「新たな日常」における  
生活時間等の変化や通信環境との関係  
(アンケート結果)**

---

2021年1月15日  
事務局

# アンケート調査 概要

- 2020年12月8日から10日にかけて、携帯電話利用者及び固定インターネット利用者を対象に、「新たな日常」における生活時間等の変化や通信環境との関係についてアンケートを実施。

## アンケートの概要

- 調査実施期間：2020年12月8日（火）～12月10日（木）
- 調査手法：webアンケート

- 対象者数（※）：

		合計	男性	女性
内訳	全体	8,537人	4,263人	4,274人
	携帯電話利用者	8,296人	4,413人	4,153人
	固定インターネット利用者	7,655人	3,863人	3,792人

## 利用者の性別・年代

### 全体

	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代
男性 (n=4,263)	563	727	620	598	589	575	591
女性 (n=4,274)	602	640	644	609	600	584	595

### 携帯電話利用者

	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代
男性 (n=4,143)	547	721	612	583	576	556	548
女性 (n=4,153)	587	637	632	606	584	560	547

### 固定インターネット利用者

	15-19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代
男性 (n=3,863)	508	625	536	543	542	545	564
女性 (n=3,792)	550	528	526	536	547	550	555

（※）携帯電話利用者と固定インターネット利用者は一部重複

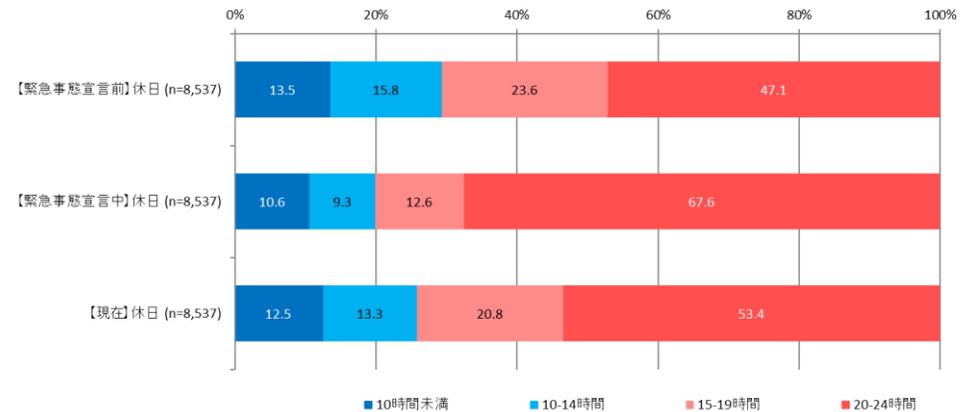
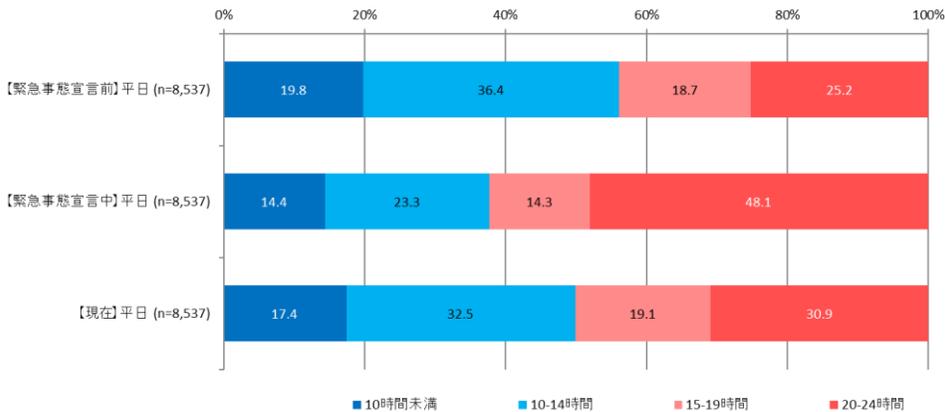
# 「新たな日常」における生活時間等の変化 ①

- 1日当たりの平均的な在宅時間は、緊急事態宣言前から緊急事態宣言中（前回）にかけて、平日・休日ともに増加した（平日：13.9時間→16.7時間、休日：16.8時間→18.8時間）。
- 現在は緊急事態宣言前の在宅時間に近づいてきている（平日：14.7時間、休日：17.4時間）。

Q 新型コロナウイルス感染症の感染が発生する前と比べて、1日の在宅時間に変化はありましたか。以下のそれぞれの時点について、1日当たりの平均的な在宅時間をお答えください。

平日	平均時間
緊急事態宣言前（昨年2月～3月）	13.9
緊急事態宣言中（昨年4/7～5/25）	16.7
現在（昨年12月）	14.7

休日	平均時間
緊急事態宣言前（昨年2月～3月）	16.8
緊急事態宣言中（昨年4/7～5/25）	18.8
現在（昨年12月）	17.4



# 「新たな日常」における生活時間等の変化 ②

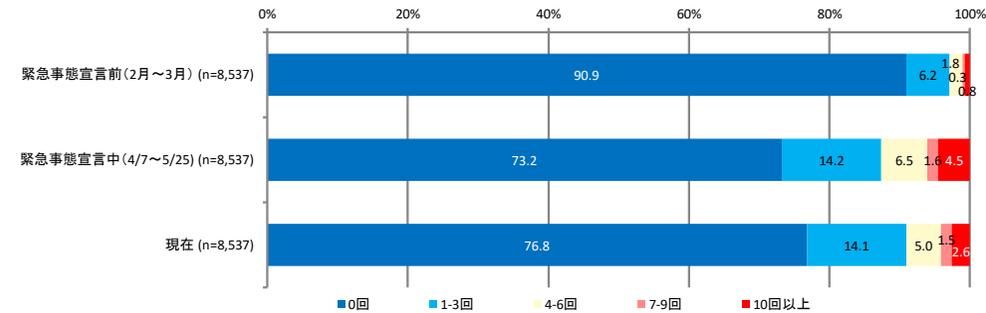
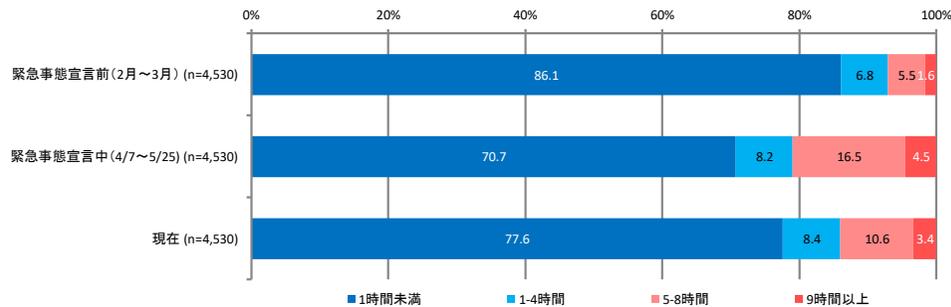
- 1日当たりの平均的なテレワークを行う時間は、緊急事態宣言中（前回）に大きく増加した（0.7時間→1.9時間）。現在の平均時間は、緊急事態宣言前の約2倍である（1.4時間）。
- 1週間あたりの平均的なWEB会議システムの使用回数は、緊急事態宣言中（前回）に大きく増加した（0.4回→1.6回）。現在は、緊急事態宣言中（前回）よりやや減少している（1.4回）。

Q 新型コロナウイルス感染症の感染が発生する前と比べて、平日の在宅時間にテレワークを行う時間に変化はありましたか。以下のそれぞれの時点について平日1日当たりの平均的なテレワーク時間をお答えください。

	平均時間
緊急事態宣言前（昨年2月～3月）	0.7
緊急事態宣言中（昨年4/7～5/25）	1.9
現在（昨年12月）	1.4

Q 新型コロナウイルス感染症の感染が発生する前と比べて、平日のWEB会議システム（Zoom、Webex等）の使用頻度に変化はありましたか。以下のそれぞれの時点について1週間あたりの平均的なWEB会議システムの使用回数をお答えください。

	平均回数
緊急事態宣言前（昨年2月～3月）	0.4
緊急事態宣言中（昨年4/7～5/25）	1.6
現在（昨年12月）	1.4

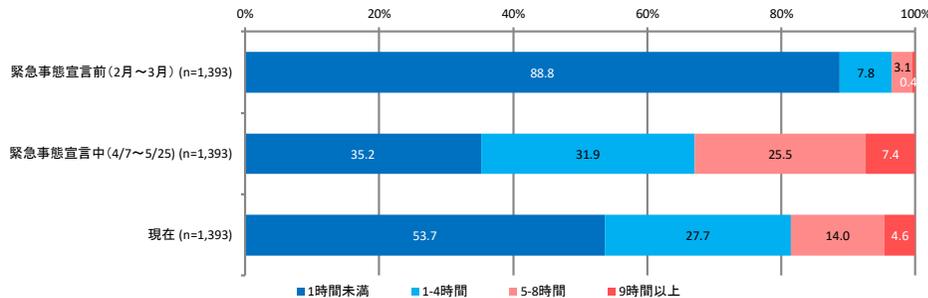


# 「新たな日常」における生活時間等の変化 ③

- ▶ 平日 1 日当たりの平均的なオンライン授業の受講時間（学生）は、緊急事態宣言中（前回）に大きく増加した（0.4時間→3.3時間）。現在の平均時間は、緊急事態宣言中（前回）より少なくなっているが、緊急事態宣言前の約5倍である（2.1時間）。
- ▶ 1 日当たりの平均的なYouTube等の動画の視聴時間は、緊急事態宣言中（前回）にやや増加した（平日：1.2時間→1.8時間、休日：1.6時間→2.2時間）。現在の視聴時間は、緊急事態宣言中（前回）よりやや減少しているが、緊急事態宣言前よりはやや大きい（平日1.4時間、休日1.8時間）。

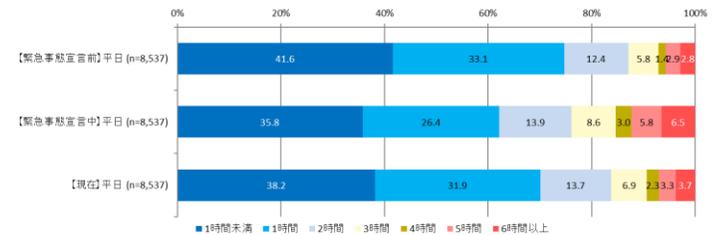
Q 新型コロナウイルス感染症の感染が発生する前と比べて、平日のオンライン授業の頻度に変化はありましたか。以下のそれぞれの時点について、平日 1 日当たりの平均的なオンライン授業の受講時間をお答えください。

	平均時間
緊急事態宣言前（昨年2月～3月）	0.4
緊急事態宣言中（昨年4/7～5/25）	3.3
現在（昨年12月）	2.1

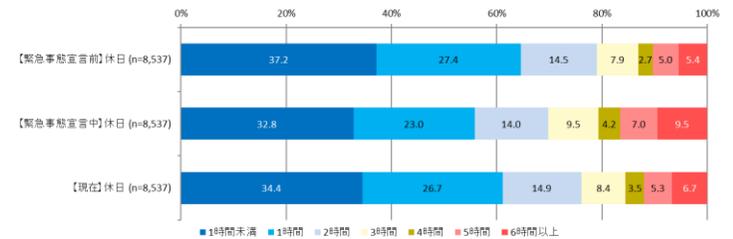


Q 新型コロナウイルス感染症の感染が発生する前と比べて、1日のYouTube等の動画の視聴時間に変化はありましたか。以下のそれぞれの時点について、1日当たりの平均的なYouTube等の動画の視聴時間をお答えください。

平日	平均時間
緊急事態宣言前（昨年2月～3月）	1.2
緊急事態宣言中（昨年4/7～5/25）	1.8
現在（昨年12月）	1.4



休日	平均時間
緊急事態宣言前（昨年2月～3月）	1.6
緊急事態宣言中（昨年4/7～5/25）	2.2
現在（昨年12月）	1.8

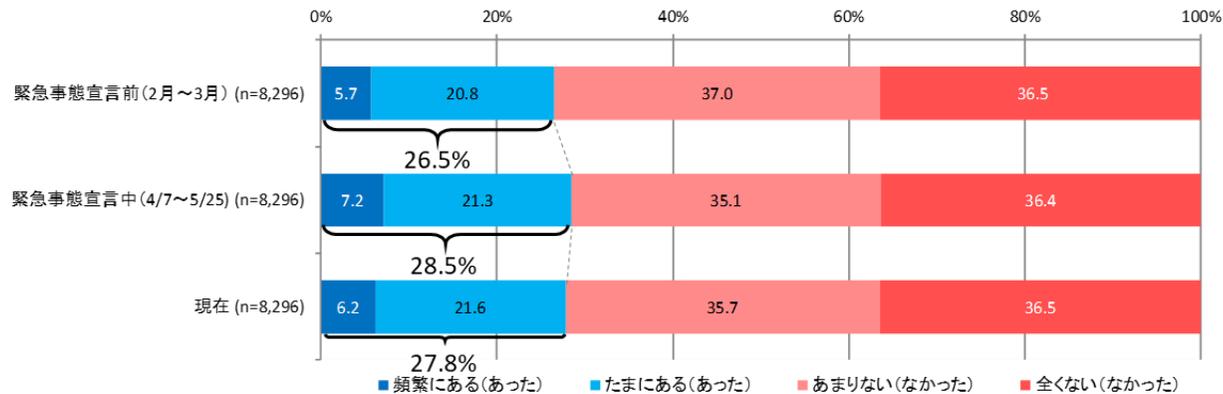


- 携帯電話及び固定インターネットの通信速度が「遅い」あるいは「不安定」と感じる割合については、緊急事態宣言中（前回）にいずれも増加した（携帯電話：26.5%→28.5%、固定インターネット：28.1%→32.2%）。
- 現在インターネットの通信速度が「遅い」あるいは「不安定」と感じる割合については、緊急事態宣言中（前回）よりもやや減少している（携帯電話：27.8%、固定インターネット：31.1%）。

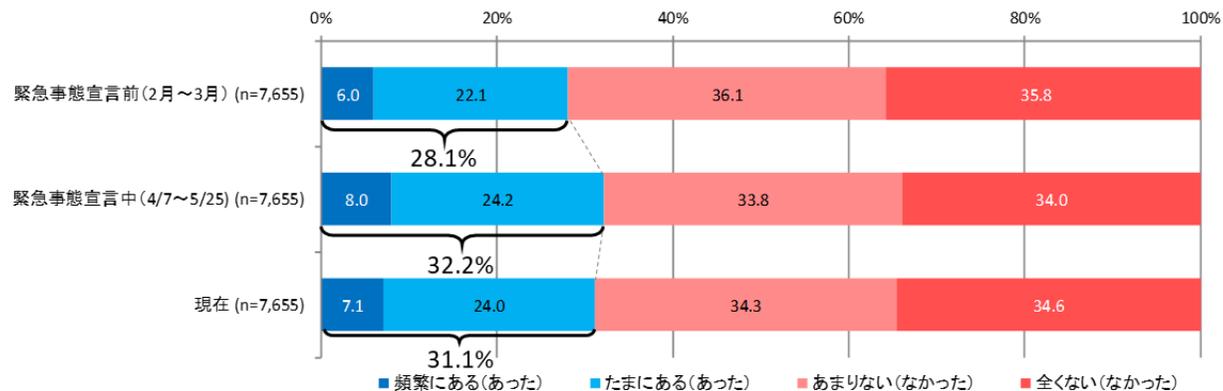
Q 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の後に、携帯電話サービスのデータ通信／ご自宅で利用している固定インターネットサービスについて、通信速度が「遅い」あるいは「不安定」と感じることはありませんでしたか。

※ （携帯電話利用者の場合）Wi-Fiに接続して使用する場合を除いてお答えください。

## 携帯電話



## 固定インターネット

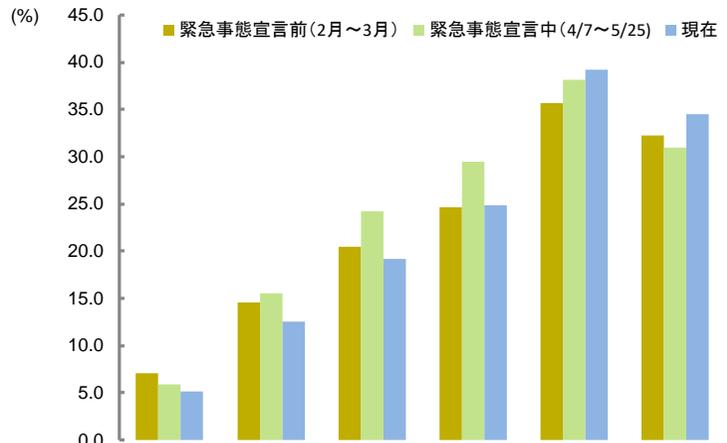


- 通信速度が「遅い」あるいは「不安定」と感じる時間帯について、携帯電話及び固定インターネットともに「夜間（18:00～23:59）」（携帯電話：39.2%、固定インターネット：42.2%）や「特定の時間帯に遅いと感じるわけではない」（携帯電話：34.5%、固定インターネット：35.6%）と回答した割合が高い。
- 緊急事態宣言中（前回）においては、携帯電話では午前～夜間（6:00～23:59）、固定インターネットでは正午～夜間（12:00～23:59）において、通信速度が「遅い」あるいは「不安定」と感じる割合がやや増加している。

Q どのような時間帯に、携帯電話サービス／固定インターネットサービスの通信速度が「遅い」あるいは「不安定」と感じましたか。【複数回答】

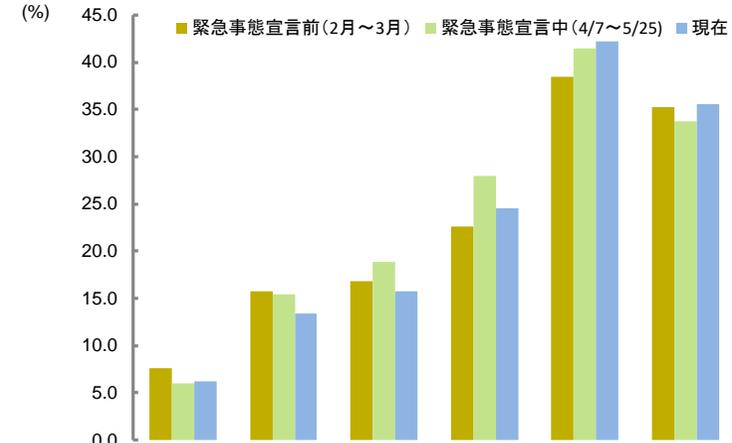
※（携帯電話利用者の場合）Wi-Fiに接続して使用する場合を除いてお答えください。

## 携帯電話



	未明～明け方(0:00～5:59)	午前(6:00～11:59)	正午(12:00～12:59)	午後(13:00～17:59)	夜間(18:00～23:59)	特定の時間帯に遅いと感じるわけではない
緊急事態宣言前(2月～3月) (n=2,199)	7.1	14.6	20.5	24.6	35.7	32.3
緊急事態宣言中(4/7～5/25) (n=2,363)	5.9	15.5	24.2	29.5	38.1	31.0
現在 (n=2,308)	5.1	12.5	19.2	24.9	39.2	34.5

## 固定インターネット



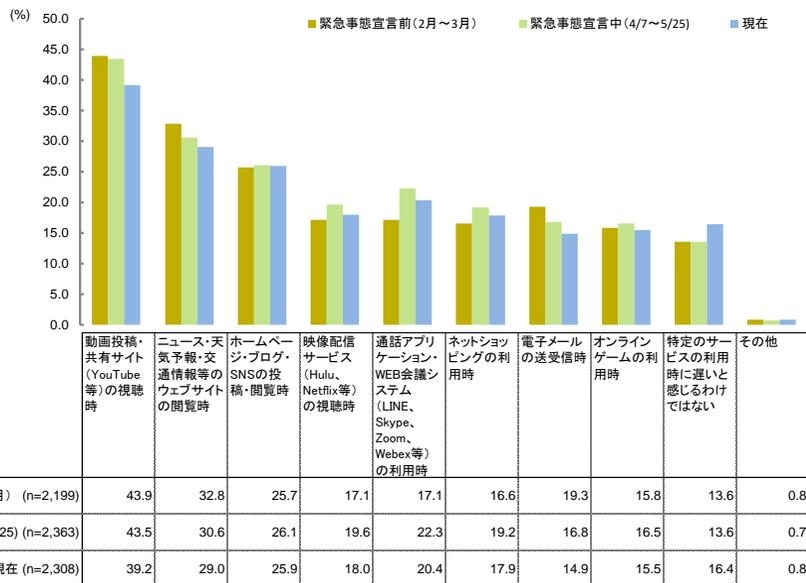
	未明～明け方(0:00～5:59)	午前(6:00～11:59)	正午(12:00～12:59)	午後(13:00～17:59)	夜間(18:00～23:59)	特定の時間帯に遅いと感じるわけではない
緊急事態宣言前(2月～3月) (n=2,153)	7.6	15.7	16.8	22.6	38.5	35.3
緊急事態宣言中(4/7～5/25) (n=2,465)	6.0	15.4	18.9	28.0	41.5	33.8
現在 (n=2,382)	6.2	13.4	15.8	24.5	42.2	35.6

- 通信速度が「遅い」あるいは「不安定」と感じるサービスについて、携帯電話では「動画投稿・共有サイト」(現在：39.2%)が高い。固定インターネットでは、「動画投稿・共有サイト」(現在：40.4%)や「映像配信サービス」(現在：40.4%)の割合が高い。
- 緊急事態宣言中(前回)において、携帯電話では「映像配信サービス」(17.1%→19.6%)及び「通話アプリケーション・WEB会議システム」(17.1%→22.3%)等、固定インターネットでは「動画投稿・共有サイト」(42.5%→43.4%)及び「通話アプリケーション・WEB会議システム」(15.4%→20.6%)等について通信速度が「遅い」又は「不安定」と感じた割合がやや増加している。

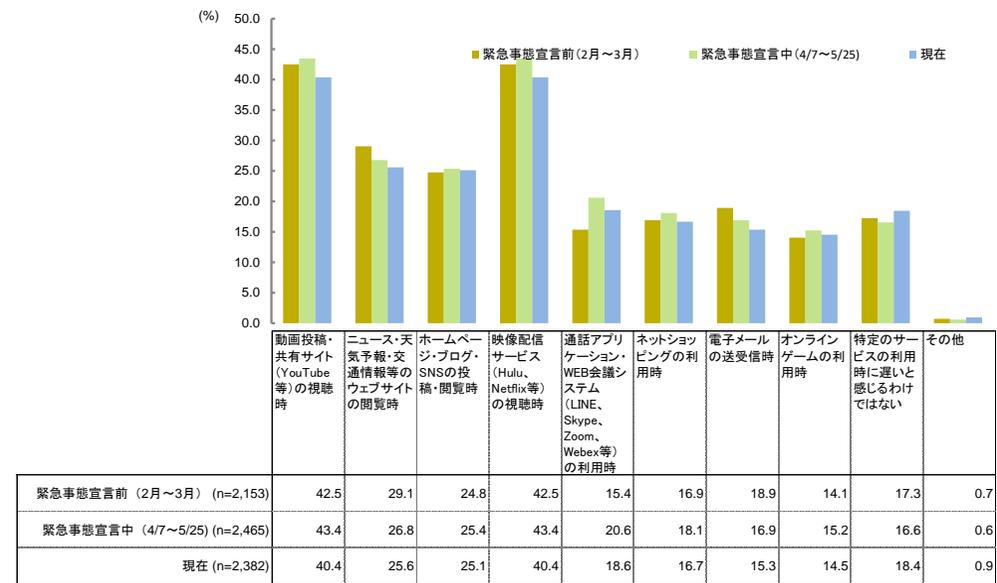
Q どのようなサービスを利用しているときに携帯電話サービス/固定インターネットサービスの通信速度が「遅い」あるいは「不安定」と感じましたか。  
【複数回答】

※ (携帯電話利用者の場合) Wi-Fiに接続して使用する場合を除いてお答えください。

## 携帯電話



## 固定インターネット



- 今後の我が国の通信インフラ（帯域・通信品質等）について、「現状で十分である」という回答は50.3%だが、その内訳として「通信インフラ増強の必要を感じない」が14.5%で、「（現状は十分であるが、） 今後は通信インフラ増強が必要」という回答は35.8%である。
- 一方、「現状は不十分であり、今後通信インフラ増強が必要」という回答は20.7%であり、 、「（現状は十分であるが、） 今後は通信インフラ増強が必要」という回答と合わせると、「今後通信インフラ増強が必要である」という回答は56.5%である。

Q コロナ禍でオンラインでの社会活動が多くなっていますが、我が国の通信インフラ（帯域・通信品質等）は現状のままで良いと考えていますか。

